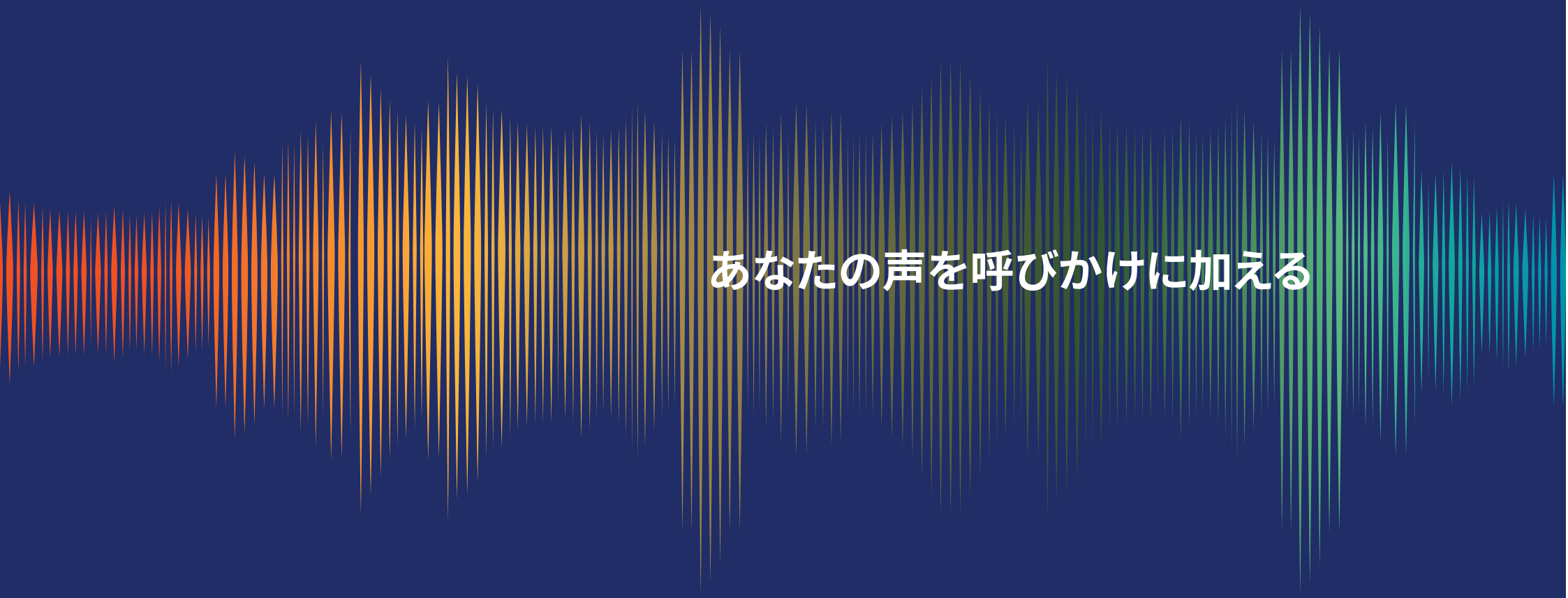
LAMBETH
CONFERENCE
神の世界のための神の教会



あなたの声を呼びかけに加える

LAMBETH
CONFERENCE
フェーズ3

執行司祭が呼びかける：

「それゆえ、わたしたちは、御使いたちや大天使たち、そして天のすべての仲間と一緒に、あなたを賛美します。彼らはとこしえに、あなたの名の栄光を告げ知らせるためにこの賛美歌を歌うのです」

声が歌う：

「聖なる、聖なる、聖なる主、強さと力の神、
天と地はあなたの栄光で満たされています。
いと高き所にホサナ。
主の御名によって来る者は幸いです。
いと高き所にホサナ」

出典：聖餐典礼の中の「サンクトゥス」

フェーズ3運営グループからのメッセージ

2022年のLambeth Conferenceでは、世界のアングリカン・コミュニオンの主教と配偶者がカンタベリーに集まりました。

世界中の教会やコミュニティを代表して、地域レベルとグローバルレベルの両方で世界に影響を与える問題についての見解を共有しました。
会議は10日間開かれました。時間は祈りと聖書研究に費やされました。

一連の「ランベスの呼びかけ」が、教会と世界の問題に関するテーマについて共有されました。

会議はカンタベリー大聖堂での特別な礼拝で最高潮に達しました。決定的な瞬間の一つは、礼拝が終わったときの讃歌と音楽でした。

音楽家たちは会衆に礼拝を呼びかけました。それに応じて、集まった人々は歌と賛美に参加しました。音楽が演奏されると、会衆は一緒に大聖堂を出て通りに歩いて行き、それぞれの人が聞いた音楽に自分の声と表現を加えました。

多くの人にとって、それはアングリカン・コミュニオンの多様性と、世界の教会の一員であることの意味を表す生きた写真でした。私たちは異なる国、文化、そして伝統から来ています。

私たちは異なる経験と視点を持っていますが、私たちは人生の中でキリストの呼びかけに応えることで一致しています。私たちは「神の世界のための神の教会」であることを目指しているのです。

Lambeth Conferenceジャーニー第3フェーズは、この音楽的な声のアイデアを発展させて「呼びかけと応答」に繋げることについてのものであり、ランベスの呼びかけをアングリカン・コミュニオンの活動に取り入れることです。

フェーズ3は、世界中の教会にランベスの呼びかけを提供し、皆がそれぞれの呼びかけを聞き、その声を加え、それに表現を与え、それぞれの状況において生かしていくようにすることです。

このジャーニーが、アングリカン・コミュニオンとしての私たちの活動とキリスト教徒としての証しを強め、今後10年間にともに歩き、聞き、見ることが私たちの祈りです。

LAMBETH CONFERENCEジャーニーのフェーズ3にようこそ

Lambeth Conferenceのテーマは「神の世界のための神の教会 - ともに歩き、聞き、見る」です。その目標は、アングリカン・コミュニオンが21世紀の世界のニーズに応えることの意味を探ることです。会議は3つのフェーズで実施されます。

Lambeth Conferenceジャーニーのフェーズ3は、ランベスの呼びかけやその他の集まりの取り組みの今後数年間の基盤となるよう、対話を継続することすべてについてのものです。Lambeth Conferenceに出席した方々は現在、それぞれより広い教会コミュニティへ呼びかけを開放することで、それぞれの環境でランベスの呼びかけを共有し、議論するよう求められています。

フェーズ1:
ともに聞く
イベント前オンラインミーティング（2021～2022）

フェーズ2:
ともに歩く
カンタベリーでの対面イベント（2022年）

フェーズ3:
ともに見る
会議の成果を前に進める（2023～2026）

フェーズ3運営グループ

フェーズ3のジャーニーをサポートするために、カンタベリー大主教は、ジュリオ・マレー・トンプソン大主教（IARCA）が議長を務める運営グループを任命しました。

運営グループは、徐々にフェーズ3プログラムをデザインし、主教らに、Lambeth Conferenceで行った聖書研究グループで会合を持ち続けるよう促します。

メンバーは次のとおりです。

- **The Rt Rev ジュリオ・マレー**
  中央アメリカ地域アングリカン・チャーチ
- **キャロライン・バウアーシュミット**
  ザ・エピスコパル・チャーチ（米国聖公会）
- **The Most Rev ケイ・ゴールズワーシー**
  オーストラリア・アングリカン・チャーチ
- **The Rt Rev ダナルド・ジュート**
  東南アジア管区教会
- **The Rt Rev Dr ビセンチア・クガベ**
  南部アフリカ・アングリカン・チャーチ
- **The Rt Rev ホルヘ・ピナ・カブラル**
  ルシタニア教会
- **The Rt Rev Dr ポール・スワラップ**
  北インド教会

リソース・コンサルタント:

- **The Rev Canon Dr ジャスティン・ホルコム**
  ザ・エピスコパル・チャーチ（米国聖公会）
- **The Rev スティーブ・ムネザ**
  ブルンジ・アングリカン・チャーチ

フェーズ3運営グループのメンバーとサポートスタッフ、リソース・コンサルタント

フェーズ3：
呼びかけと応答

Lambeth Conferenceジャーニーのフェーズ3は、聖書、典礼、そして音楽に見られる特徴である「呼びかけと応答」のアイデアにより形づくられます。

神学的には、呼びかけと応答は詩編に見られ、そこでは礼拝と祈りにおいてそのパターンが典礼法に従って展開されます。呼びかけは通常、礼拝者に応答を促す神学的肯定から始まります。たとえば詩編118; 136では、呼びかけは次のように行っています：「主に感謝せよ。まことに主は恵み深い」。これに対して次のように応答します：「慈しみはとこしえに」。繰り返しは勢いを増し、信仰とビジョンを共有します。この呼びかけと応答は、旅の感覚を含んでいます。徐々に発展するものとされ、じっとしていることはめったにありません。

音楽では、演奏者は短いメロディや呼びかけをし、他の演奏者がそれを聞き、解釈して応答します。その結果、音楽が構築されるにつれて、動きと発展の感覚が得られます。

これは、ランベスの呼びかけがコミュニオンを通じて行き来して共有される方法が形作られるアイデアであり、各管区は、それぞれの環境に最も適した形で呼びかけと応答を受けます。「呼びかけと応答」を通じて、私たちは、アングリカン・コミュニオンとして私たちの共有された生活を豊かにするために、お互いの経験を聞いて学ぶことに焦点を当てます。

フェーズ3では何について話し合うのか

ランベスの呼びかけ

フェーズ3では、Lambeth Conferenceで話し合ったランベスの呼びかけのテーマについて検討することになります。それぞれの呼びかけの目標は、神への誠実さを深め、コミュニオンの聖務を前に進め、世界中の教会やコミュニティによる呼びかけへのより多くの参加を可能にすることです。

それぞれの呼びかけには起案グループがあり、世界中のアングリカン・コミュニオンから様々な代表者が集まっています。それぞれの呼びかけには、宣言と確言、行動や熟考のための共通の呼びかけが含まれます。ランベスの呼びかけは次のテーマについて共有されました:

- 弟子育成
- 環境と持続可能な開発
- アングリカンのアイデンティティ
- セーフ・チャーチ
- 科学と信仰
- 人間の尊厳
- キリスト教の一致
- 布教と伝道
- インターフェイス（異教徒間関係）
- 和解

ランベスの呼びかけは、ペンテコステ2023年から全体で共有されることになります。2023年に共有されたランベスの呼びかけには、Lambeth Conferenceで主教から得られたフィードバックに基づいて起案グループが行ったフィードバックと更新が含まれます。

アングリカンのネットワークと委員会の活動

アングリカンのネットワークと委員会は、ランベスの呼びかけについて検討するために招かれます。Lambeth Conferenceジャーニーのフェーズ3は、世界中のアングリカンのネットワークと委員会が実施している重要なプロジェクトやリソースへの道しるべでもあります。たとえば、

コミュニオン・フォレスト: コミュニオン・フォレストは同会議で発足し、森林保護や樹木育成、生態系回復の地域活動からなるグローバルな取り組みを行っています。

セーフ・チャーチ: Lambeth Conferenceで、セーフ・チャーチ委員会（SCC）は、すべての人の安全を高めるためのガイドラインを共有し、アングリカン・コミュニオン全体で進められることになっています。

アングリカン・コミュニオン科学委員会（ACSC）: 科学から情報を得て、科学コミュニティと協力し、科学的議論に信仰の倫理的な声をもたらすことは、今後世界における教会の使命の主要な部分になり、ますます科学と技術により形作られるものとなります。ACSCは、教会が人間の必要に応じて科学の世界と協力できるようにするために重要な役割を果たすでしょう。

LAMBETH CONFERENCEジャーニーに参加するにはどうすればよいか

フェーズ3のジャーニーはウェビナーとグループディスカッションを組み合わせたもので、世界中の教会がランベスの呼びかけの各テーマを探り、それらを自らの環境にどのように適用できるか検討できるようにするものです。2023年5月のペンテコステから始まる「呼びかけの共有」ウェビナーのタイムテーブルでは、ランベスの呼びかけの各テーマについて説明されます。各ウェビナーの間に、それぞれのコミュニティで自らの「呼びかけへの応答」グループディスカッションを実施するよう招かれます。
(アングリカン・コミュニオンへの贈り物として、ランベスの呼びかけが決まったオーダーで検討されなければならないという期待はありません。ただし、ディスカッションをサポートする方法として、ジャーニーとリソースが提供されます)。

呼びかけ

ウェビナー
呼びかけの設定

四半期ごとの「呼びかけの共有」ウェビナーに参加します。各ウェビナーでは、ランベスの呼びかけのテーマについて検討します。一連のウェビナーが計画されています。

Lambeth Conferenceチームが主催する各ウェビナーでは、次の内容を取り上げます。

- 呼びかけのテーマについての熟考を教える。
- 呼びかけ起案グループのメンバーなどの特別ゲストを招く。
- グループがそれぞれの環境で使用できる聖書研究と学習教材を共有する。

応答

グループミーティング
呼びかけへの応答

ウェビナーの数日または数週間後に、グループで会合を持ち、呼びかけのテーマとそれぞれの環境での意味について話し合うよう招かれます。

その目的は、世界中の教会やコミュニティがランベスの呼びかけを探求することができるようにすることです。これには次のようなものがあります。

- 主教聖書研究グループ
- 配偶者のネットワークグループ
- コンパニオン・リンク
- アングリカン・コミュニオンのネットワーク
- アングリカン・コミュニオンの委員会
- 教会・コミュニティのグループ

呼びかけ

ウェビナー
呼びかけと応答

シリーズの中の次のウェビナーに参加します。ここでは、ランベスの呼びかけの最初のディスカッションの内容を称え、共有します。

このウェビナーでは、次のランベスの呼びかけのテーマについても紹介します。次のものがあります。

- 前のウェビナーの呼びかけテーマから得たストーリーと洞察
- 呼びかけのテーマについて教えることおよび熟考
- 特別ゲストの招待
- 次の聖書研究とリリースされた学習教材

ストーリーをシェアしてください

ジャーニーの各フェーズで、世界中のグループに、ランベスの呼びかけがそれぞれの環境においてどのようなものになるかを共有するようお願いしています。
祈り、写真、短い証しやストーリー、各自のプロジェクトに関する情報から選択して共有することができます。
あなたのストーリーを電子メールで次の宛先に送ってください:info@lambethconference.org / ウェブサイトにアクセスする: lambethconference.org / ソーシャルメディアでシェアしてください。

ディスカッションのスケジュール

各四半期はウェビナーから始まり、次の順序でグループディスカッションが続きます。

2023年のテーマ：

5月～9月：　弟子育成

9月～12月：　環境と持続可能な開発

2024年のテーマ：

1月～3月：　アングリカンのアイデンティティ

4月～6月：　セーフ・チャーチ

7月～9月：　科学と信仰

10月～12月：　人間の尊厳

2025年のテーマ：

1月～3月：　キリスト教の一致

4月～6月：　布教と伝道

7月～9月：　インターフェイス（異教徒間関係）

10月～12月：　和解

LAMBETH CONFERENCEフェーズ3 - Q & A

Lambeth Conferenceジャーニーのフェーズ3とは何ですか?

フェーズ3は、世界中の教会にランベスの呼びかけを提供し、皆が「その声を呼びかけに加え」、それぞれの状況において生かしていくようにすることです。その目標は、アングリカン・コミュニオンとしての私たちの活動とキリスト教徒としての証しを強め、ともに歩き、聞き、見ることです。

ランベスの呼びかけとは何ですか?

ランベスの呼びかけは、2022年のLambeth Conferenceに参加した主教が共有する、宣言、確言および教会への共通の呼びかけを表す呼び名です。

ランベスの呼びかけの目的は何ですか?

それぞれのランベスの呼びかけの主眼は、神への誠実さを深め、コミュニオンの聖務を前に進め、世界中の教会やコミュニティによる呼びかけへのより多くの参加を可能にすることです。

「あなたの声を呼びかけに加える」とはどういう意味ですか?

あなたの声を呼びかけに加えることは、ランベスの呼びかけに票を入れたり、認めたりする要件ではありません。これは、それぞれの呼びかけが自身の環境でどのような意味を持つかを探り、話し合い、検討することの勧めです。

フェーズ3の対象は誰ですか?

ランベスの呼びかけはLambeth Conferenceで主教により議論されました。しかし、教会への「呼びかけ」として、それらは世界中の教会やコミュニティを対象とするものです。このように、より広い教会グループがそれぞれの呼びかけを探求するよう薦められます。

ランベスの呼びかけはどこで見ることができますか?

ランベスの呼びかけの全文は、Lambeth Conferenceのホームページから入手できます。ランベスの呼びかけの新版の発行日は2023年5月です。新版は、2022年の主教の議論からのフィードバックが反映されます。各呼びかけウェビナーでは、一連の呼びかけが共有されます。

ウェビナーの対象は誰ですか?　また、サインアップはどのようにしますか?

Lambeth Conferenceに参加した主教と配偶者の会議コミュニティは、より広い聖職者と教会コミュニティとともに、ランベスの呼びかけウェビナーにぜひ登録するよう薦められます。ウェビナー登録の詳細はLambeth Conferenceのウェブサイトに公開され、ウェビナーの開催日は年間を通じて通知されます。

ランベスの呼びかけは順番に話し合う必要がありますか?

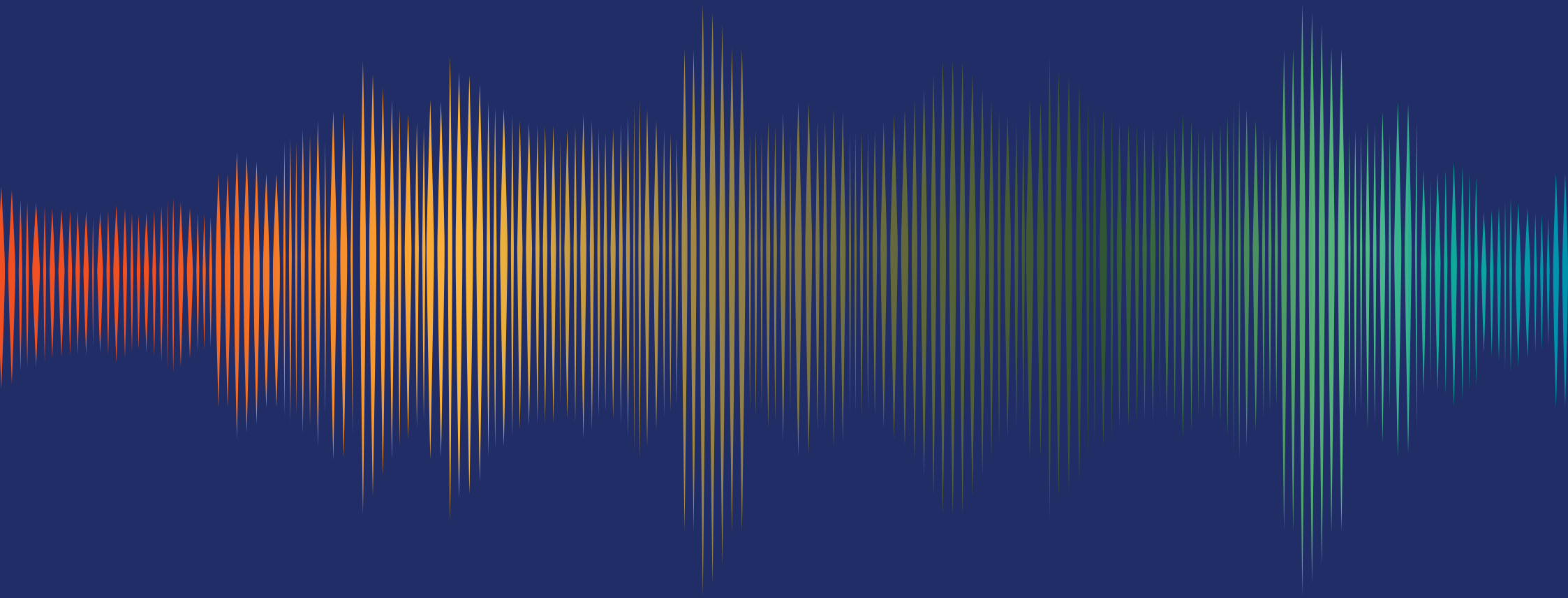
管区によらず、いつでもランベスの呼びかけについて話し合うことができます。アングリカン・コミュニオンへの贈り物として、呼びかけが決まったオーダーで検討されなければならないという期待はありません。フェーズ3のジャーニーでは、ウェビナーのディスカッションと聖書研究の資料を、教会での議論の助けとするためのリソースとして提供します。それらを使用する義務はありません。

グループを立ち上げるにはどうすればよいですか?

ウェビナーは、アングリカン・コミュニオン事務局のLambeth Conferenceチームが実施します。グループディスカッションは独立して実施されます。既存のネットワーク、聖書研究、または他のグループでランベスの呼びかけについて議論することもできます。対面またはオンラインでのミーティングでは、無料のリソースや資料を使用してディスカッションの助けとすることが望まれます。管区と主教区は、それぞれの状況に最適な方法でこれを行うことが望まれます。

自分のストーリーを共有するにはどうすればよいですか?

このジャーニーの間いつでも、あなたの環境における呼びかけがどのようなものかあなたのストーリーをLambeth Conference運営グループにぜひお知らせください。ジャーニーを通じてストーリーを共有していただくようお願いできればと思います。ストーリーは他の人の励みとなり、学習を分かち合うのに役立つからです。「公式報告」は必要ありません。次のサイトにアクセスして、ストーリーを共有できます：LambethConference.org または次に電子メール：info@lambethconference.org



LAMBETH CONFERENCE
神の世界のための神の教会

次のサイトでLambeth Conferenceのストーリーをフォローし、ディスカッションを共有してください：

LambethConference.org/Phase3　@LambethConference　@LambethConf　info@lambethconference.org